



講師紹介

～ 私たちが C.school で働く理由 ～

教室長 関屋 雄真



Vision

- ・意志を持って選択し、努力により過去の自分を越えた経験を創る。
- ・子どもたちの自信を養う。

私がC. schoolで実現したいこと

意志を持って人生を選択する。

その選択に自ら責任を持ち、努力によって未来を切り拓く。

そのプロセスに対して寄り添い、その実現をサポートする。

C. schoolの教室運営や日々のお子様たちとの関わりの中で、それを実現していきたいと考えています。

私自身の子どもから大人に成長していく過程や、これまでの様々な経験から、自らの選択や行動によって切り拓かれる未来の大きさを学びました。また、人が新たなチャレンジをしていくための、その土台となる自信の大切さについても多くの場面で向き合ってきました。

子どもたちの日々の学習、定期試験、受験という機会を通じて、成功体験をすること。一人ひとりが自信を積み重ねていくこと。自分なりに考え、自分らしい選択を行えるようになること。そして最後まで頑張り抜く努力をすること。その一連の過程を、日々のお子様たちとの関わりの中で実現し、C. schoolに通っていただく全てのお子さまが、一人ひとりにとっての「なりたい自分」になれたと思える経験を届けていきたいと考えています。

【中学・高校時代】

繊細な性格から、友人との人間関係や、その中で
の自分自身のあり方について悩み、息苦しい日常
を過ごす。一方、高校受験での志望校合格、それ
に至るまでの努力の過程が将来的に自分を支えて
いくことになる大きな力と自信となる。



【大学時代】

自分自身の所属学部とは異なる教育学部のゼミに
特例として所属させてもらい、教育について深く
学ぶ。そこでの学びや刺激溢れる出会いが大きな
転機となり、自分の意志によって行動した先の大
きな未来を実感する。大学時代に、社会の教員免
許も取得する。

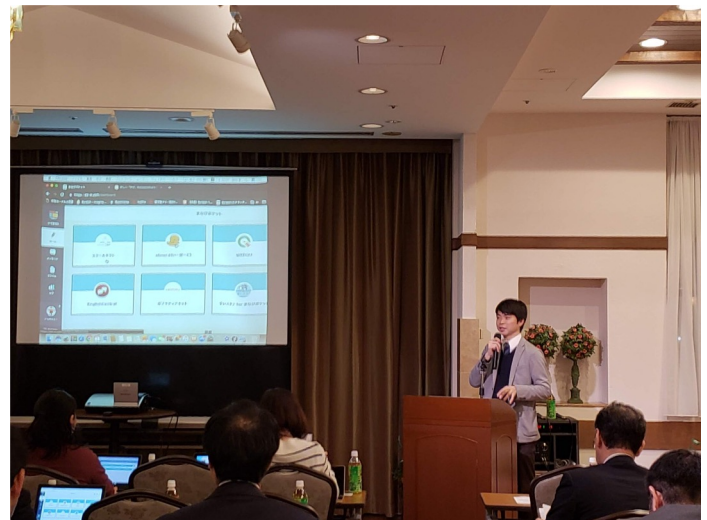


【社会人】

通信会社において全国公立学校のデジタル化を推
進する業務に従事する。全国の教育委員会や学校
現場に毎日のように足を運び、教育分野に対する
知見を深めるとともに、教育に携わる仕事に対し
てより大きな関心を抱く。

また、平日の日々の仕事としながら、土日には結
婚現場で運営スタッフとして働く経験をする。

「人生が変わるほどの結婚式」をオーダーメイド
の結婚式を通じて実現する現場に触れる中、人生
の節目における、意志ある選択と行動の意味の大
きさを知る。自分自身の強みである教育分野の経
験を活かしつつ、それを受験という機会の中で生
み出していきたいと考え、C. schoolのビジョンの
もとに実現していくことを決める。



講師 藤井 悠右



Vision

- ・「基礎を深く学ぶこと」の大切さと面白さを届ける。
- ・勉強が「わかる」「できる」ようになる経験を通じ、生徒と一緒に勉強を楽しむ。

私がC. schoolで実現したいこと

私は、子どもたちが勉強することの面白さを味わい、楽しく勉強に取り組んでもらえるよう、日々の学習から関わっていきたいと思っています。

私の人生において大きかったのは大学受験でした。第二志望にも受からなかった現役時代、色々な参考書に必要以上に手を出し、基礎的な内容の理解を深められなかったため勉強に対するモチベーションを失ってしまいました。しかし浪人時代に、予備校で毎週出る課題をたくさん解く中で、基礎的の学習を徹底した結果、勉強自体に対する好奇心が強まっていきました。その好奇心のおかげで、受験勉強に対するモチベーションを維持することができ、結果的に志望する大学に合格することができました。その時に、自分の勉強にとって大事なことは、「基礎を深く学ぶこと」なのだと気づきました。

勉強に対する火のつき方は人それぞれあると思います。私はC. schoolで、日々子どもたちの心の声を聞きながら、それぞれの子どもたちが自分なりのやり方で勉強の火をつけられるサポートをしていきたいと思っています。

【幼少～中学】

東京都練馬区出身。

小学校4年生のときに父親の仕事でアメリカへ移住。英語力と、今でも続けているコントラバスを身につけ、大きな自信とともに帰国。

しかし日本での新たな環境に馴染めず。何よりも「他人の目」が気になる性格だった。少しでも周りから認められたくて、偏差値の高い高校に受かるべく必死に勉強をした。



【高校～浪人】

高校では水泳部と軽音部を兼部。高3の文化祭で自主ライブを行うなど、「自分のやりたいことをやる」楽しみを見つけ始める。

大学受験では浪人を経験。基礎を疎かにし、第二志望も不合格だった現役時代の反省を活かして、浪人時代は基礎を徹底的に固めた。そこで「基礎を深く学ぶこと」の大切さと面白さに気づく。勉強自体が楽しくてしょうがなかった。



【大学～いま】

大学では、その後ライフワークとなる、音楽(ジャズ)に没頭。様々な大学のジャズのサークルで大編成のビッグバンドから3人編成のバンドなど様々な音楽を経験。今でもライブ活動など細々と続けている。

大学4年時、卒業論文の執筆と同時に、前職の会社にて在学中から勤務開始。卒論は「新しい地域通貨の可能性」というテーマで執筆し、優秀論文として公開された。とにかく自分のやりたいことに没頭する楽しさを学んだ。

「自分の意志」を大事にするC. schoolのビジョンに強く共感し、2021年3月より参画。



講師 中阪 壮輝



Vision

- ・勉強の面白さに気付くきっかけを与える。
- ・定期テストや高校受験だけでなく、大学受験でも使える英語力を届ける。

私がC. schoolで実現したいこと

自分のこれまでの人生を振り返ると、自分自身大きく成長できたという時には必ず、尊敬できる大人との出会いがありました。その方々は当時まだ子どもだった自分にも真剣に向き合ってくれて、また、その方自身も日々努力する姿を背中で見せてくれて、私もより高みを目指して頑張りたいと刺激を受け、努力することができました。今後私は、一人一人の子どもたちと日々向き合いながら、自分自身の「どうなりたいのか」を引き出すことに対してサポートできるような教育を行っていきたいと思っています。

自分自身、中学校時代に英語に対して苦手意識を感じていた時期がありました。中学・高校の時にとある先生との出会いから英語の勉強の仕方について教わり、英語ができるようになりました。それが波及して別の科目への向き合い方も変わり、勉強全体への向き合い方を変えることができました。そして、勉強が楽しくなり特に英語を武器にしていくことで、高校受験や大学受験で、自分が本当に行きたい学校にチャレンジし合格できる学力を身につけることができました。これは自分が特別だからできたわけではなく、今もがいている子みんなに変わるきっかけは必ずあると思っています。自分自身の経験から、定期テストの点数、特に英語の点数を上げることで自信を深め、また、この人に出会ったから成績が伸ばせたのだという信頼関係を築いていくことができる教育者になりたいと思っています。

【幼少期～高校】

生後1.5ヶ月で阪神淡路大震災に被災。小さい頃は内向的で人前で話すのが苦手で自分に自信がなかった。中学のソフトテニス部の顧問の先生に出会い「やり切ることの大切さ」を覚えてもらい自分に自信が持てるように。学習面では中1の時、英語が苦手な平均点以下を取っていた。中2以降で新しい先生に出会い、英語の勉強の仕方が分かり内申点を3→4→5と上げていくことができた。高校でも良い英語の先生に出会い英語の学力を高めることができ、全国模試では偏差値75を出したこともある。



【大学受験】

高校時代から国立の神戸大学を志望。英語の学力は高めることはできたが、英語以外の他の受験科目を十分に伸ばしきれず、現役合格は叶わず。予備校には通わずに1年間自宅浪人を経験。孤独に耐え毎日淡々と勉強する生活はとても大変だったが、激闘の末、第1志望に合格。この経験を通して「自分を律して自分自身が本当に望む目標に対してやり切る大切さを学ぶ。



【大学～社会人】

大学では、阪神淡路大震災をきっかけに設立されて活動を行うボランティアサークルに所属。地域の児童館にて子どもたちと関わる活動を行う。児童館では学習支援事業にも関わる。その経験から大学卒業後は個別学習塾で教室長・講師として勤務。勉強が得意な子から5教科合計でも100点に満たない子まで、様々な学力層の生徒への指導を行ってきた。英語が苦手な生徒の点数を20点アップさせた時のその子の笑顔が忘れられない。C.schoolでも子どもたちの達成感から生まれる喜びを引き出したいと思っている。



講師 入山 聖



Vision

- ・学習を通じて、子どもたちの自信と挑戦する力を養う。
- ・定期テストの点数アップから努力の成功体験を生み出す。
- ・子どもたちの素直な気持ち（喜怒哀楽）を引き出せる講師である。

私がC. schoolで実現したいこと

C. schoolでは、お子様一人一人の話に耳を傾け、個々の夢や目標に必要な大きなステップにコミットする。それが成功できたと思える体験を実現することで人生が変わったと思える瞬間を生み出していきたいと思っています。

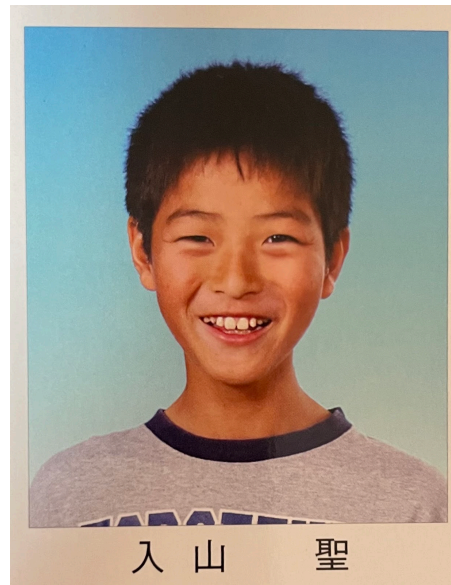
私はこれまで個別学習塾の教室長として勤務してきました。そこで出会った個性溢れるたくさんのお子様が目標に向かう中で、不安、悔しさや喜びなどの気持ちに変化する瞬間と向き合ってきました。この経験は、子どもたちの様々な気持ちの持ち方が学習や成長に及ぼす影響は非常に大きいことを教えてくれました。

お子様一人ひとりが目標に向かっていけるよう支えるため、彼らの気持ちや考えを傾聴し、一人ひとりに対して丁寧に寄り添った対応をすることを大切にしていきます。そして子どもたちの学習を、夢や目標を追い続けるための自信を身につけるプロセスにすべく日々尽力し、「なりたい自分」になれたと思える瞬間を届けていきたいと考えています。

【幼少期～高校時代】

幼少期から始めたサッカー。

中学時代、サッカーが原因でネガティブ思考に陥り全ての物事にやる気のでない日々を悩んだ。一方、高校時代に黙々と続けた自主練によって実力がつき周りから認められるようになる。この過程から将来的に挑戦し続けていくための自信を身につけることができた。

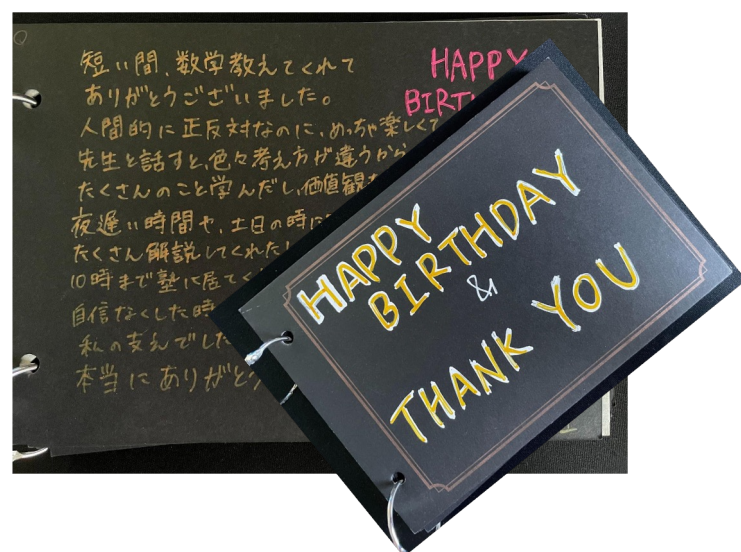


入山 聖

【大学時代】

友人の紹介で個別学習塾でのアルバイトを始め、子どもたちと初めて関わる。

自分を必要としてくれることの喜びと、子どもの前では自然体でいられる自分に気づき、教育に興味を持った。この経験が教育に進む原点になった。



【社会人】

大学卒業後、アルバイト時代とは別の個別学習塾で講師・校舎責任者として勤務する。中学受験、高校受験、大学受験と様々なプロセスで子どもたちと関わる中で、人生選択に携わる責任の重みを肌で感じた。学習面で悩みを抱える子どもたちはもちろん、人間関係や家庭環境から心に傷を抱える子どもたちとの出会いもあり、一人ひとりの気持ちに対する向き合い方を考え続ける日々を送った。



子どもたちの意志決定を支える日々を送る中「子どもたちのなりたい自分への挑戦」にコミットするC. schoolの教育方針に強く共感しそのビジョンのもと自身の成長に挑戦することを決める。



代表 風間 亮



Vision

- ・「なりたい自分に出会える塾」として
「主体的な進路選択」と「やり切る力」を届ける塾を創る。
- ・ Warm Heart (心の成長) Cool Head(学力向上)を両立する塾を創る。

私がC. schoolで実現したいこと

C. schoolを通じて「新しい自分に出会う喜び」を一人でも多くの人に届ける。
これが私の志です。

「新しい自分に出会う喜び」は「目標を決めてチャレンジする喜び」「やり切る喜び」「経験を学びに昇華する喜び」に分解できると考えています。そこで私たちは、受験や定期テストを通じて、子どもたちが「自分の意志で目標を決め」「その目標に向けて努力をし」「そのプロセスを振り返ること」に伴走し、子どもたちが新たな自分へと成長できるようサポートしています。

また、私が担任制にこだわる理由は、「新しい自分に出会う喜び」を届ける手段として（もちろん学力向上の手段としても）、「人生を変える」くらいの情熱を持った人が一定期間伴走することがとても重要であると信じているからです。そんな人との出会いを子どもたちに届けたいのです。C. schoolの講師陣は、一人ひとりの学力向上に寄り添うことはもちろん、進路選択や目標設定のサポート・挑戦の後押し・学びの振り返りと、子どもたちの人生が変わるような学習経験を創り出すべく全力で伴走します。

【小学生】

3才下の妹・7才下の弟を持つ長男として育つ。二人ともとても可愛く、よく一緒に遊んでいた（面倒もみていた？）ので、教育に関心を持ったのは彼らの影響が大きいのかもしれない。



【中学～高校】

小2で始めた野球を高校まで続ける。高校最後の大会では2番ショート。1回戦 vs 立教池袋に2-3× 延長12回でサヨナラ負けを喫する。涙の試合後は、22時までサイゼリアで仲間と語り明かした。中高時代、ほぼ休みなく野球に励んだ経験と仲間は大きな財産になっているため、子どもたちには部活も頑張っ欲しいという思いが強い。勉強は中2のときに父親の母校・小松川高校に行きたいと思い、突然勉強に取り組む。おしゃべり男子の授業態度が一変し、先生に驚かれる。中2の3学期から内申を7アップさせ、無事小松川高校に合格。高校時代は、毎朝5時に起きて朝練前に1時間・帰宅後に2時間勉強する日々を送った。時に泣きながら勉強した。先日、高校の同窓会で「休み時間いつも単語帳見てたね」と言われたので、ずっと勉強していたのだろう。一方、部活後に友人とミニストップでだらだらしたり、文化祭にも全力で取り組んだ。そんな経験から高校生には「文武遊」メリハリつけて妥協なく過ごして欲しいという思いがある。また、当時の生活を支えてくれた両親には感謝の気持ちが強く、子どもたちにも自分を支えてくれている保護者の方に感謝してほしいと願っている。



【大学】

尊敬する先輩との出会いがあり、自分の意志を持ってチャレンジする喜びを知る。海外留学・海外インターン・海外バックパッカーなど、世界を広げた。この出会いを再現したいというのが志の根源。また、高校までに英語の基礎を身につけてよかったと心底感じたので英語教育への思いが強い。



【社会人】

新卒の就職先で教室長の関屋と出会う。その後、「社会人経験を持つ学校教員になり、子どもたちの世界を広げたい」という思いから学校教員になる。教員の経験を通じて、もっと子どもたちの「進路選択」のプロセスに伴走し、一人ひとりと向き合いたいという思いから、「なりたい自分に出会える塾」をコンセプトに個別担任制学習塾C.schoolを開講した。





なりたい自分に出会える塾